

5. 予算および主要課題

水産試験場

事業名	平成7年度予算
水産試験場運営費	59,064千円
試験研究調査費	32,366
(異常濁水および湖水位低下による 水産生物への影響調査)	(3,793)
(微小藻類の魚介類への影響調査)	(881)
(琵琶湖及び河川の水棲生物の生息状況調査費)	(5,619)
(フナ・モロコ資源増大対策研究費)	(7,191)
(淡水真珠対策研究費)	(1,746)
(湖産アユ種苗性向上試験費)	(3,627)
(バイオク応用技術開発研究費)	(1,754)
(利用加工技術開発研究費)	(407)
(増養殖技術研究費)	(4,189)
(漁況予報調査研究費)	(1,542)
(漁場環境調査研究費)	(1,617)
水産技術普及指導費	295
人件費	171,243
計	262,673

水産課計上分

事業名	平成7年度予算
栽培漁業総合推進対策費	
(シジミ増殖技術開発事業費)	(10,016)
漁場環境維持対策費	
(漁場環境保全技術開発総合試験費)	(3,752)
養殖漁業振興事業費	
(魚類防疫対策事業費)	(4,000)
計	17,768千円

平成7年度主要研究課題

事業名	調査研究課題	調査研究内容
1. 異常濁水及び湖水位低下による水産生物への影響調査 県 単 3,793千円	1) 漁場環境への影響調査 2) アユ資源への影響調査 3) フナ・モロコの生産性に及ぼす影響調査 4) 貝類への影響調査	平成6年度の記録的な少雨のために生じた長期にわたる河川の濁水と湖水位の低下は水産生物の増殖に重要な河口、沿岸部の様相を一変させ、その水産生物に及ぼす影響が懸念されている。この事態に対処して、既に平成6年9月期からその緊急調査に着手しているが、生物環境調査を完結するに最低限1年間の調査が必要である。よって、今回の異常濁水及び湖水位の低下の影響からの生物的回復状況を的確に把握し、今後の対策に資するため追跡調査を継続する。
2. 琵琶湖及び河川の水棲生物の生息状況調査 県 単 5,619千円	1) 琵琶湖沿岸帯調査 2) イサザ・ヌマチチブ等の生態調査	琵琶湖漁業にとって、生態系的的確な把握は、漁業振興を図るために重要な課題である。最近では外来生物の侵入、繁殖等にみられるように琵琶湖の動植物の生態系が大きく変化していることが予想され、総合的な現況の把握が緊急の課題となっているので3年計画で調査を実施してきたが、最終年度の平成7年度は、琵琶湖沿岸帯の調査を昭和44年度調査に準じて実施する。
3. フナ・モロコ資源増大対策研究 県 単 7,191千円	1) モロコの資源添加技術の検討 2) フナ・モロコの再生産基盤造成保全技術の検討 3) フナ・モロコの遺伝的多様性モニタリング 4) フナ・モロコの資源解析	ニゴロブナやホンモノは琵琶湖漁業を支える重要な水産資源であるが、近年の産卵繁殖場の減少や、産卵繁殖場周辺での外来食害魚の台頭等により漁獲量は減少の一途をたどっており、その傾向はニゴロブナで著しい。このため平成4年より3年間、ニゴロブナを中心に資源動向の把握、より効果的な種苗放流等の調査研究を進め、一定の成果を得たので、本年度からホンモノに重点を移し、初期生活史の解明をはじめ琵琶湖の環境条件に即した増殖法の確立のための研究を推進する。
4. セタシジミ増殖技術開発研究 国 費 10,016円	1) 種苗量産技術開発 2) 放流技術開発	セタシジミは琵琶湖の特産種として、消費者ニーズは高いが近年漁獲量は激変している。そのためセタシジミの資源増産に努め、シジミ漁業の振興を図るための種苗を人工的に大量生産し、漁場への有効な放流手法の確立をめざす。
5. 淡水真珠対策研究 県 単 1,746千円	1) イケチウヨウ貝の種の保存技術の開発 2) 代替母貝の検討 3) 真珠漁場環境の動向調査	真珠母貝(イケチウヨウガイ)は、外来動植物の異常繁殖による生態系の変化、漁場環境の悪化等により、その成長や生存率が急激に低下し真珠生産量は減少の一途をたどっている。このため、イケチウヨウガイの保存技術や生育技術の研究を進めると共に、イケチウヨウガイに代わる優良な真珠母貝の探索とその遺伝的特質の調査や、増殖法を確立すると共に真珠養殖技術の確立に向けての試験研究に取り組む。
6. 湖産アユ種苗性向上試験 県 単 3,627千円	1) 湖中アユの健康状況調査 2) 種苗の疾病状況調査と対策試験	琵琶湖のコアユは県内のみならず全国内水面漁業にとっても最も重要な魚種であるが、近年、県外等の需要者から湖産種苗に対し、その歩留り、釣果等種苗の品質に対する懸念が出されている。このような課題に対処して、河川放流用や養殖用の種苗としての品質向上をめざして採捕時の健苗性、種苗仕立て時の魚病対策や種苗選性の向上などの検討を総合的に推進する。